

第7回ワークショップ 安全グループまとめ

周辺地区からいかに早く安全に病院に来る事が出来るかが重要。そのための道路整備を。

H12年策定の住吉橋～臼田橋間河川敷の県の遊歩道計画がストップしているが、計画自体は生きている。ワークショップから、市へ提言し県へ要望していくことを検討しては。

病院東側の道路は交通量が多いが、幅が狭く危険。横断者も多いので、整備を。

現在、河川敷での耕作者もおり、権利関係が複雑で難しい。所有権の調査、国有地を有効利用して、親水公園の整備を。

再構築に伴い、河川敷駐車場がなくなる。駐車場から稲荷山公園に繋げる遊歩道の検討。入院患者さんのリハビリ用の道路としての機能も。

緊急車両の乗り入れも想定し、病院東側の道路を西側に拡幅し、センターラインを整備。3、5メートルの歩道の設置を。

障害者も利用することが想定される道は、当事者に検証してもらうことも含め、絶対安全で障害者がひとりでも利用できるもの

小学校・中学校の連携が見直されている。病院東側道路から臼田中学裏までつながる歩行者・自転車用の橋を架けて欲しい。病院との交流にも有効ではないか。

稲荷山公園の整備が、数年前から区長会の陳情として出ている。ワークショップでも議論を。